



# モク MOKUにグッドデザイン賞

## 市民協働の取り組みが評価

市立菅原生涯学習市民センター（長尾元町1丁目35番1号）1階の、今年2月オープンのコミュニティスペースをデザインした「MOKU」プロジェクトが、2019年度グッドデザイン賞を受賞した。今回の受賞は、同センターにある旧市民室サービスコーナーを有効活用した新しい場作りを目指し、木材を使った空間やコンセプト・設計・運営を、地域の市民や大学と一緒に考えて考える市民協働型の取り組みなどが評価されたもの。地域の市民にとって、職場でも学校でもない、新しい学びやつながりが体感できる場づくりを目指している。

### ★「MOKU」プロジェクトについて

菅原生涯学習市民センター1階の空きスペースを、木材を使ったコミュニティスペース「MOKU」へリノベーションし、活用するプロジェクト。

### ★コミュニティスペース「MOKU」について

菅原生涯学習市民センターや菅原図書館の利用者および周辺地域の市民が気軽に利用できるフリースペース。木の香りに包まれた優しい空間で、イベント以外でも、一人でもグループでも、本を読んだりごはんを食べたり、気兼ねなく自由に過ごすことができる。



### ★グッドデザイン賞の受賞について

主催：公益財団法人日本デザイン振興会

概要：グッドデザイン賞はデザインの優劣を競う制度ではなく、審査を通じて新たな「発見」をし、Gマークとともに社会と「共有」することで、次なる「創造」へつなげていく仕組み（グッドデザイン賞ホームページより）。

受賞カテゴリー：取り組み・活動（地域・コミュニティづくり等）

※今回の受賞は、特に市民協働の取り組みが評価されたもの。



GOOD DESIGN AWARD  
2019年度受賞

## ★評価された主なポイント

- ①計5回の市民会議で話し合った地域特有の課題や実情をもとに、大阪工業大学やNPO法人と連携し、「MOKU」のコンセプトやリノベーションプランを作成。
- ②地域の将来を担う地域の小学生たちによる「森を見に行こう！」や「こども大工体験」など、社会や仕事の仕組みを学ぶプログラムを実施。
- ③「MOKU」オープン後、出入り自由のオープンスペースとして運用する他、市民発案のイベント実施や、図書館の読み聞かせなど、延べ80回以上のイベントを開催。市民の新しい出会いや学びのきっかけづくりを提供。

### <グッドデザイン賞 審査コメント>

「できあがった空間の質や選んだ材料だけでなく、どうやって進めているか、誰がそこに関わっているかなど、総合的なデザインとして評価すべき事例である。専門家だけが集まってつくる空間では得られないような知識や技術やつながりや愛着が生まれ、使いこなされるようになっていっているだろう。その分、時間がかかっているはずだが、貨幣資本だけでなく時間資本を存分に使って進めた丁寧な取り組みだといえる。」

## ★「MOKU」の取り組み

- 企画・管理運営：市立菅原生涯学習市民センター  
指定管理者：枚方まなびつながりプロジェクト  
代表企業：大阪ガスビジネスクリエイト株式会社  
構成企業：株式会社リブネット、京阪ビルテクノサービス株式会社
- 設計・リノベーションデザイン：寺地洋之 大阪工業大学建築学科設計第1研究室（※1）
- コーディネーター：NPO法人まどり 水木千代美（※2）
- 所有者：枚方市

### （※1）寺地洋之 大阪工業大学建築学科設計第1研究室

様々な建築設計の経験を有する寺地教授のもと、日々、建築設計の可能性を追求されている研究室。ゼミ活動の基幹のひとつに林業の集積地である奈良県川上村で木材を活用したデザインビルドを21年間実施しており、これまでに手がけたものには、廃校小学校のリノベーションやバス停など多種多様。それらのデザインは吉野杉の魅力を引き出し、村民や観光客に活用されている。

### （※2）NPO法人まどり 水木千代美

子どもたちにより良い社会を引き継ぐために、国産材の利用促進やソーシャルデザインを実践するNPO法人。また、吹田市内で運営しているコミュニティカフェ「さたけん家」の企画・コーディネートを実施。子どもも大人も楽しく暮らせるまちづくりを目的とし、地域の子どもから高齢の方まで、様々な人の居場所をつくる活動を展開している。

## <お問い合わせ>

市立菅原生涯学習市民センター ☎050-7102-3141、FAX866-8820